

第53号

平成30年
7月2日

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoujukai.org/> E-mail ikoinosato@syoujukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

第53号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さんこんにちは
梅雨シーズンの到来で雨が降ったり、止んだりの蒸し暑い天気が続いています。この6月18日の早朝会議を行っている時、ちょうど7時58分に体がつきあがるような激しい振れがおこり、1995年1月17日に発生した阪神大震災を憶いおこす地震が発生しました。

北大阪を中心とした直下型の限定したものでしたが枚方市は震源地に近く、その後余震の続く中、自然災害の恐ろしさと備えの大切さをもう一度思いおこすものでした。

この大地が動くということは万物が流浪変転の証であります。“災害は忘れた頃にやってくる”は日本では常時の備えが必要であることを実感致します、この先、未来はどうなるのだろうかと一寸先の分からない現実に不安と

あせりを感じますが、何んとしてもしっかりと目標をもって軸のぶれない毎日を過ごしたい、もっともっとと真実を探りたい、事実をつかみたいという事は万人の願いであります。

この無限の出来事の錯綜する世の中をみわたし、自然の定理を見出し正しい安定飛行の毎日を暮らすにはどうすればよいか私は余りむつかしく考えず、良き友をもち、喜怒哀楽を共にし、回りに気を配り恩返し的心をもつことにしています。

私の施設のホールに毎月、みどり寄席を開催しています。“一回笑えば1日健康で長生き出来る”をキャンペーンにして落語の愛好家が集まって地元の50年にもなる伝統の噺家の師匠が出演、協力していただいています。時間があればどうぞお来し下さい。



平成30年度中村病院管理職研修開催

人事部長 廣江 卓統

平成30年度理事長年頭所信の中で、人材育成を事業方針の一つとして掲げられましたので下記の通り管理職研修を開催する事といたしました。

管理職としての個人スキルの向上と、各部署内をまとめていくスキルの開発に努力していきたいと思っております。

実施計画

- 対象者：中村病院管理職
- 講師：玉置心理士課長
- 方法：講義と演習（全7回）
- 日時：毎月1回（第3週水曜日）午後4時～午後5時
- 場所：中村病院4階会議室
- 内容：毎回ホームワークを取り入れた体験学習

1回 職場風土づくりは人間関係づくり	5回 それってパワハラ？
2回 相手の想いを導く	6回 感情コントロール
3回 異なる意見をまとめる	7回 職場のストレス管理
4回 人間関係の背景を理解する	



平成30年度中村病院管理職研修



枚方市における多職種連携について

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

利用者の自立支援を行うに当たって、例えば医師やケアマネジャーの何らかの「関わり」があります。その関わっている多職種同士がきちんと連携できていれば、利用者にとって大変有益です。一見当たり前のことですが、一方でやはり難しさがあることが、国が多職種連携を促進させる根拠の一つになっています。

国の政策は従前から「在宅チーム医療を担う人材育成事業」などで、大阪府が地域リーダー研修を実施していました。現在は、枚方市地域包括支援センターごとに「多職種連携研究会」等として研修会を実施しています。

枚方市は、職能団体が幅広く整備されている素晴らしい特徴があります。医師、歯科医師、薬剤師などの医療従事者はもちろんですが、病院に所属するソーシャルワーカーも職能

団体があります。訪問介護、通所介護、訪問看護などの事業種ごとにも団体があり、そして枚方市で活躍するケアマネジャーが400名加入する協議会があります。

医療と介護の連携は非常に大切といわれていますが、枚方市の職能団体が整備されている点を、枚方市域の強みとして十分に活かし、包括が主催する多職種連携研究会では、その「難しさ」に正面から向き合っていける場でありたいと考えています。



介護老人保健施設 なごみの里



本年度のリハビリテーション部の取組み

リハビリテーション部 課長 山田 浄明

今回の改定で地域包括ケアシステムの推進が求められるなか、老健施設が持つ役割の中でも「在宅復帰、在宅生活支援」や「地域に根ざした施設」に対してリハビリ部として積極的な取り組みを行ってまいります。

まずは5月よりなごみの里で訪問リハビリを開設いたしました。なごみの里・サテライトなごみの里から在宅復帰されるご利用者へのフォローやデイケアご利用者の目標実現、生活課題の解決を目的としております。

また、短時間デイケアのご利用者へ「リハビリマネジメント加算Ⅱ」の算定を行い、医師の関与のもと、リハビリ職が

中心となりご利用者やサービスの関係者が集まる「リハビリ会議」を開催します。会議での情報共有や目標の明確化により、ご利用者の主体的な生活や活動へ繋げていきます。

その他、リハビリ職と地域サービスや施設が連携する「生活機能向上連携加算」を活用し、今後さらに地域や法人内施設への貢献に努めていきたいと思っております。

これらの取り組みを法人内、各事業所と連携を取りながら行い、ご利用者や地域の皆さまの安心した生活やその人らしい人生をサポートしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



なごみの里相談員、新体制スタート

支援相談員 主任 設楽 香奈子

4月に介護報酬の改定があり、介護老人保健施設の役割が入所者の在宅復帰と、その後の在宅支援であることがより明確に示されました。

私たち支援相談員は、ご利用者の気持ちや意向、ご家族の背景や不安を考慮しながら、様々な情報の集約点となり、他職種と協同しながら在宅復帰支援に取り組んでいます。

入所、ショートステイ、デイケアなど入所から在宅生活まで切れ目のないケアをさせていただけるのも老健相談員の強みだと考えております。

さて、4月よりなごみの里に新入職員2名が入職いたしました。新しいスタートラインに立ち、緊張しながらも日々一生懸命、業務に取り組んでおります。

社会福祉士としての知識も必要ではありますが、まずは社会人としての接遇やコミュニケーション能力を身につけることが大切です。

ご利用者、ご家族との対話を大切に、そのひとつひとつの言葉の中にある思いを受け止め、よりよいケアが提供できるよう日々業務に励んでいます。



夏の暑さを乗り切るための体作りを目指して

栄養科 主任 管理栄養士 小野 理恵

夏本番となり、暑さとの闘いがやってきました。五月に真夏日予想が出た時は、この先の暑さがどれほど続くのか、何よりご利用者の体調への危惧を感じました。高齢者にとって、夏の暑さは熱中症になる危険性が高いからです。成人と比べて体の水分量が少ないうえに、感覚も鈍くなり、のどが渴いているのに気づきにくくなる為、いつも以上に水分補給を必要とします。

当施設では夏季の間、お茶の他にスポーツ飲料による水分補給を行い、熱中症の予防に努めています。お茶が苦手な方も、勧めてもなかなか飲まれない方の水分量の改善につながる

事もあり、電解質の補給と共に効果を感じています。

熱中症の他に気をつけたいのが夏バテです。夏バテ予防で特に摂っておきたい栄養素は、たんぱく質とビタミンB群です。たんぱく質は筋肉や臓器、皮膚の主成分として体を作る働きがあり、ビタミンB群は、エネルギーの代謝を助けて疲労回復に役立ちます。豚肉、豆類、雑穀は、ビタミンB群が豊富でタンパク源にもなります。更に夏野菜には、暑さのストレスへの抗体をつくるビタミンCがたっぷり含まれています。このような食材を組み合わせた食事を心がけ、夏の暑さを乗り切っていただきたいと思っております。



いこいの里藤阪運営推進会議開催

いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

いこいの里藤阪・小規模多機能ホームふじ が今年の1月から開設し、早いもので6ヶ月経ちました。おかげさまで、いこいの里藤阪は6月で定員29名の満床を迎えることができました。また、併設している小規模多機能ホームふじも、ご利用者からのご希望も多くいただき、6月より定員を15名から20名に変更することができました。これもひとえに、ご利用者の皆さまや地域の皆さまのご理解やご協力があったからこそと思います。厚くお礼申し上げます。

また、スタッフも開設前の事前研修から、開設後の業務の組み立てなど、目に見えないところでひとつひとつ、ご利用者のケアに取り組んでいたことで、大きな事故もなく過ごすことが出来ました。

運営面でも、地域の方やご家族との意見交換として「運営推進会議」を2か月に一度開催しています。特に、防災面

では堤防が決壊した場合の取り組みなどを地域の代表の方からも教えていただき、これからの豪雨に備えた対策を立てていきたいと考えています。こうした、地域の方やご家族からの声を伺いながら、施設の運営面の向上につなげていき、「施設の常識が世間の非常識」に陥らないように心がけていきたいと思います。

今後とも、皆さまからのご指導よろしくお願い申し上げます。



菖蒲園見学

グループホーム たんぼぼ藤阪 ユニットリーダー 石川 静

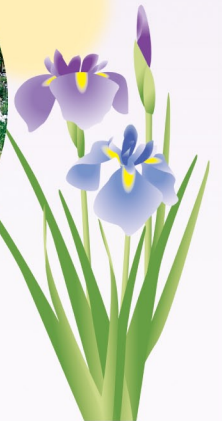
毎年恒例となっている「菖蒲園見学」です。今年は3日間に渡って実施し、多くの入居者の方々に喜んでいただくことができました。

初日はあいにくの雨模様でしたが、小雨だったため、傘を手に外出しました。傘の上にきこえるポツポツという雨音や、水のしたたる菖蒲の花びらなど、梅雨の季節を体感していただくことができました。

2日目・3日目は天候に恵まれ、心配していた暑さもそれほどではありませんでした。例年より早咲きだった花々は少し疲れも見せていましたが、それでもなお色鮮やかに入居

者様の目を楽しませてくれました。「ええとこに連れて来てもらったわ」「またお願いします」といった声を入居者からいただき、職員も嬉しく思っています。

行事の企画から実施までには、大変なことも多々ありますが、皆様の笑顔や喜びの言葉、生き活きとした表情に出会えると、私達職員もたくさんの元気をいただきます。その喜びを大切に、皆様と共に笑顔で過ごせるよう頑張ります。



各施設連絡先

● 社会福祉法人 松樹会 ●

- 特別養護老人ホームいこいの里
デイサービスセンターいこいの里 072-898-2197
- サテライトいこいの里 072-849-2210
- 特別養護老人ホームいこいの里藤阪 072-868-2192
- ケアハウスつくしんぼ長尾
デイサービスセンター長尾 072-868-2190
- ケアハウスつくしんぼ藤阪 072-868-2191
- グループホームたんぼぼ藤阪 072-868-2197
- グループホームたんぼぼ田口 072-898-2193
- 小規模多機能ホームふじ 072-868-2193
- 居宅介護支援センターつくしんぼ 072-898-2196

● 医療法人 みどり会 ●

- 中村病院 072-868-2071
- 中村記念クリニック 072-868-2070
- 介護老人保健施設 なごみの里 072-868-2072
- サテライトなごみの里 072-818-2071
- デイサービス長尾の里
- 有料老人ホームみどりの館 072-868-2727
- 旬彩なかむら 072-860-7527
- グループホームたんぼぼ長尾 072-868-2195
- ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
- 訪問介護ステーションみどり 072-868-4392
- 地域包括支援センターみどり 072-845-2002

—— 編集後記 ——

みどり会、松樹会合同の経営会議を毎週月曜日7:30から中村病院4階会議室で開催している最中に今まで経験したことがないような激震が走りました。事務所の備品、機器が散乱している状況を目の当たりにし改めて自然災害の脅威は身近にあることを思い知らされました。お陰様で両法人に入院、入所されている方々の安全は確保でき、けが人もなくほっとしている所です。今回のことを教訓に各施設の防災システムの点検・見直し、ご利用者様の安全確保を図るべく努力をかさねて行かなくてはと思っています。

みどりの風編集委員会
連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田